



(株)建設技術研究所

防-24

ゲリラ豪雨対策～RisKma水災害リスクマッピング～

数十分程度のゲリラ豪雨によるまちなかの道路冠水や水路からの溢水といった「内水はん濫」が頻発しています。当社は浸水の恐れがあるエリアを中心に、全国250mメッシュで5分毎にリアルタイム浸水予測を行い、ホームページで一般公開しています。予測結果はいつでもスマートフォンから無料で閲覧することができ、ゲリラ豪雨による浸水をいち早く知る情報として役立ちます。当社では、さらにこの予測データを活用して、個別のニーズに対応した情報提供のご提案もいたします。



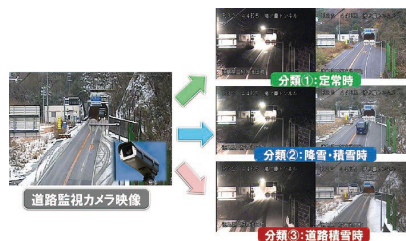
内水リスクマップ

担当部署 大阪本社 水システム部 担当者 坂井 広正

Tel 06-6206-5954 Fax 06-6206-6046

AIを活用した降雪・積雪検知技術

雪水対応は、各種措置（チェーン確認、融雪剤散布、通行止めによる集中除雪）の開始時期の予測が困難です。実施時期・箇所判断は職員等の現地判断に依る部分が多い状況です。現地のCCTVを常時監視することは職員等の負荷が多いことから、画像を解析しリアルタイムに降雪を検知する方法が求められています。それらの検知を行う技術として当社で構築した深層学習（ディープラーニング）での画像処理による「積雪判別モデル」や「交通状況把握」等のモニタリング技術について紹介します。



降雪検知の例

担当部署 大阪本社 道路・交通部 担当者 吉岡 正樹

Tel 06-6206-5982 Fax 06-6206-6049

<http://www.ctie.co.jp/>